

仁雄会
穂高病院
広報誌

ふんあひ

2017

11

No.34

- 着任医師紹介
- 第12回病院祭
- 委員会紹介「透析機器安全管理委員会」
- 第35回全国新作花火競技大会
- 小児科外来 竣工
- 打ち水大作戦
- 災害訓練
- 秋の全国交通安全運動



撮影：大久保 喜雄

着任医師 永田先生に聞く

5月から総合診療科に着任した永田先生に伺いました。

○お名前とご出身を教えてください。

永田美穂です。東京都多摩市の出身です。

大学以降は宮崎県や栃木県で過ごしました。7年前、縁あって長野市の病院に勤務することになり長野県に参りました。

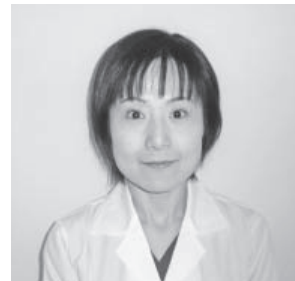
○専門領域を教えてください。またその領域を志した理由はなんでしょうか。

専門は消化器・一般外科です。子供のころからドクターになりたいかかったのですが、悪いところを直接手で治すという外科的治療に魅力を感じていました。急患はお腹が痛い患者さんが多いので、役に立つ技術をも身につけたいと思い外科を志しました。また、急病患者さんの初期対応(プライマリ・ケア)も専門です。

○心強いですね。穂高病院にお越しになったきっかけを教えてください。

結婚して松本に転居することになり、北アルプスが間近に見えることに感動し、美しい景色の環境の中で働きたいと思い、穂高病院に来ることにしました。

○北アルプスの雄大な姿には私たちも毎日心が洗われますからね。では穂高病院に入職して感じた



ことを教えてください。

隅々まで清掃が行き届いたきれいな病院で、スタッフの皆さんが生き生きと笑顔で仕事をされているので、とても気持ちがいいです。皆さん、とても優しいです。

○ありがとうございます。常に清掃には気を使っていますので今後も継続を心掛けます。そんな安曇野市にお越しになった感想を教えてください。

四季折々の景色が美しく、素晴らしいです！五月の頃の白い山の頂が写った安曇野の田園風景には心を打たれました。

○美しい安曇野が気に入っていただけでよかったです。趣味や特技はありますか。また休日はどのように過ごされますか。

休日は家事で一日が過ぎていくことも多いのですが、以前少し経験した山登りを最近また始めました。少しずつですが、あちこちの山に登り始めました。先日念願の槍ヶ岳に登り、そこからの絶景に感激しました。

○最後になりますが、穂高病院でどんな診療をしてみたいですか。

穂高地域の皆様が病気になっても安心して暮らせるよう少しでもお役に立てたらと思います。鼠経ヘルニア(脱腸)の患者さんは少なくないのですが、小さな傷での手術(腹腔鏡手術)なども行ってみたいです。よろしくお願います。

ー安曇野と北アルプスの風景が大好きな永田先生。そばにいただけで元気いっぱいになりそうです。穂高病院での活躍を大いに期待します。

「第12回 病院祭」



10月15日、徳高病院祭が盛大に行われました。第12回となる今回のテーマは「深めよう地域との絆」～小児医療を考える～です。常念太鼓の皆さんの心に響く太鼓が鳴り渡り、古屋院長の開会のことばにより、病院祭はスタート。

イベント会場では徳高西小学校の合唱団の皆さんによる澄んだ歌声が響き、その後4月より小児科に着任した黒川哲二医師による講演が「小児科あれこれ」というテーマで行われ、子どもがわかりやすい疾患について分かりやすくお話しして頂きました。

体験コーナーでは骨密度測定・血糖血圧測定・高齢者よろずなんでも相談などが行われ、多くの皆さんが訪れていました。また子どもと一緒に楽しめるような分包装機によるお菓子の葉づくり・腹腔鏡操作・ちびっこナース&ドクター制服体験など各種の病院職場体験も行われ、子どもたちの楽しそうな笑顔に私たちスタッフも元気をもらいました。毎年恒例のバザーも大盛況で、長蛇の列ができた多くの方で賑わっていました。舞台ではフランクフルト・カシュー・デザートがふるまわれ、老若男女多くの方に利用して頂き「おいしい」とお褒めの言葉も頂きました。午後は豊科高校吹奏楽部の皆さんによる演奏があり、みんなで一緒に歌った「ふるさと」は感動的でした。

病院祭の最後は餅つき大会です。まず医師が、そのあと子どもたちがついたお餅がふるまわれ、参加された皆さんと一緒に頂き、和気あいあいとした雰囲気の中、病院祭は幕を閉じました。

あいにくのお天気でしたが多くの方々足を運んでいただき、ありがとうございました。いろいろなイベントを通して地域の皆様との絆も深まったのではないのでしょうか。来年もまた多くの方に来て頂けるような病院祭を行いたいと思います。

(レディース病棟 倉嶋真奈美)



委員会紹介

透析機器安全管理委員会

透析医療を行う際に使われる透析機器を、安全に使用するために活動を行います。

一般には、透析機器とは患者さんのベッドの横に設置して実際に透析治療を行うコンソールと呼ばれる装置を表していますが、本当は透析に使用する透析液を作りだし、各ベッド横の透析機器へ供給する機械室の装置も含めた呼び方です。

委員会の活動内容は主に透析機器のメンテナンスや透析で用いられる透析液の品質管理です。メンテナンスでは透析装置が安全に機能しているか、透析装置に組み込まれている自己診断に異常がないか、安全であるかを確認します。また異常が出た場合は原因を突き止め、再び安全に使用できるようにします。装置内の部品も寿命があるため、交換が必要になった部品については交換を行います。

透析液の品質管理では、透析液が一定範囲内の濃度でしっかりと作られているか毎日チェックをします。さらに透析液に細菌などが混入していないか検査を行い、安全性の確認をしています。こちらにも異常があれば定められた基準に基いた対応をし、安全に使用できるようにします。月1回のペースで委員会を開き、出来事をまとめて報告していきます。

(臨床工学技士 吉越国宏)

第35回 全国新作花火競技大会

9月2日に、職員親睦会主催の新作花火大会鑑賞に61名が参加しました。大型バス2台で連なり、親子、夫婦、同僚、親戚など大勢が参加し、新作花火を楽しむに病院を午後3時



に出発しました。途中渋滞もありましたがおぎのや諏訪ーC店で休憩して、目指す諏訪湖に午後5時頃に着きました。

まだ日差しがまぶしい時間に、指定席の椅子に一人ずつ座り、陽が沈むまでのひと時をそれぞれ楽しみました。屋台が沢山出ていて、人の多いのにも驚きました。屋台の前には沢山の行列ができていました。お腹いっぱい食べて、後は夜空に輝く花火を待ちました。

今年は風が強く湖面も波立つ中、いよいよ花火が打ち上げられ、子供達の歓声が上がりました。新作花火なので、今までに見たことのない綺麗な花火ばかりで感動を味わえました。また音楽に合わせての新作花火はリズム



カルで、空いっぱいステージの中に色鮮やかな色彩がとも印象深く、感動しました。とても楽しい一夜になりました。

(2)階病棟
平澤教子

小児科外来 竣工



8月1日小児科外来が竣工しました。本館棟西側に増設されたおよそ180平米の建物には、専用の診察室が2部屋と処置室が設けられました。小児科には、今年4月に着任した黒川啓一医師と3人のスタッフが配属され診療にあたります。当院産婦人科と連携し、かねてより要望のあった生まれた赤ちゃんの経過観察が出来るようになりました。また外来患者さんの診療にもあたり、より地域が求める診療を実施できるようになりました。

打ち水大作戦



夏の盛り、8月4日の午後、病院正面玄関前で打ち水をしました。近年自治体や環境保全団体などが環境コミュニケーションの一環として実施している活動として、打ち水があります。当院もこの呼びかけに賛同し数年前から協力しています。日本では昔から暑い夏を涼しくする知恵として打ち水があ

り、ゼロエネルギーで涼を取る効果に期待が持たれています。打ち水には水道水や飲料水を使わないのが流儀だそうです。普段は建物回りで育成されているゴーヤのグリーンカーテンなどに利用している廃ワイン樽に溜めた雨水もこの日は打ち水として利用され、来院された方々にひとときの清涼感を提供していました。

災害訓練



9月3日、震度6強を想定した災害訓練が行われました。災害直後に病院内の災害対策本部が立ち上がり、各職種から構成された災害派遣チームが召集され、院内の災害状況を収集、確認し本部に報告。また医療行為が円滑に行われるかの確認も行いました。

外部からの多数の負傷者を想定し、トリアージの訓練も行いました。病院入り口にトリアージエリアを設置し、多数の被害者を効率よく受け入れる為、模擬患者を設定し傷病者受け入れ処置を行うなど実践的に訓練を行いました。

災害はいつどこで起こるか分かりませんが、だからこそ日頃からの訓練を行うことが大切であり、少しでも多くの知識や技術を持ち合わせて積極的に動けるように日頃から取り組んでいく事が必要だと感じました。

(災害時医療救護チーム 須崎巳代子)

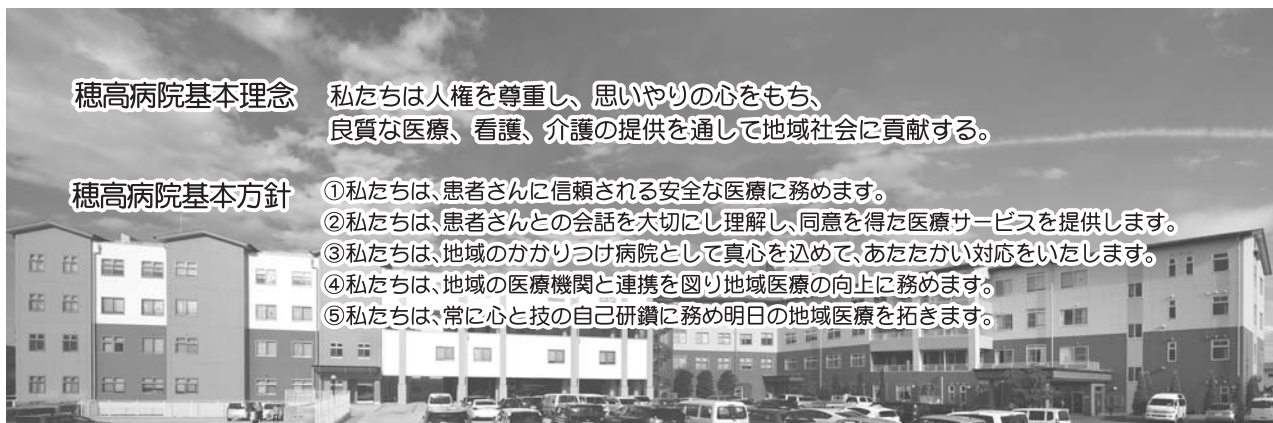
秋の

全国交通安全運動

9月に秋の全国交通安全運動が実施されました。期間中は安曇野警察署の署員と安曇野市役所の方が街頭啓発活動の一環として穂高病院を訪れました。

当日はあいにくの雨でしたが、子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止啓発のため、来院された方々にチラシや反射材の付いたキーホルダー等を配布し声をかけていました。





穂高病院基本理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心を持ち、
良質な医療、看護、介護の提供を通して地域社会に貢献する。

穂高病院基本方針

- ①私たちは、患者さんに信頼される安全な医療に務めます。
- ②私たちは、患者さんとの会話を大切に理解し、同意を得た医療サービスを提供します。
- ③私たちは、地域のかかりつけ病院として真心を込めて、あたたかい対応をいたします。
- ④私たちは、地域の医療機関と連携を図り地域医療の向上に務めます。
- ⑤私たちは、常に心と技の自己研鑽に務め明日の地域医療を拓きます。

診療案内

平成 29 年 11 月

診療時間

午前 9:00 ~ 12:30 午後 16:00 ~ 18:00

お問合せ

電話 0263-82-2474

◎木曜日・土曜日の午後及び、日曜・祝祭日は全科休診となります。

診療科目 / 曜日		月	火	水	木	金	土
内科	(1診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
	(2診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
整形外科	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
外科(乳腺・甲状腺)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
産婦人科	(1診)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	(2診)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
眼科	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
総合診療科	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
小児科	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
	午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	
循環器科	完全予約制	毎週水曜日	9:00 ~ 12:30	信大医師			
禁煙外来	完全予約制	毎週火曜日	14:00 ~ 15:30	毎週水曜日	14:00 ~ 15:00	大久保	
形成外科	完全予約制	第2・第4木曜日	9:00 ~ 12:00	信大医師			
上部内視鏡検査		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
下部内視鏡検査		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
ドック(12:50~)		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
特定健診(9:30~)		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)
往診(13:30~)		古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)

◎眼科受付時間:火曜 11:00 まで、土曜 12:00 までとなります。なお火曜午後は予約検査のみです。外来診療は行っておりませんのでご了承下さい。

◎内科は診療予約も行ってあります。(電話でも可)

◎人間ドックの予約については、健康管理部直通 0263-81-1011 までお問い合わせ下さい。

受付時間 平日 8:30 ~ 16:30 / 土曜日 8:30 ~ 11:30



医療法人
仁雄会

穂高病院

TEL 0263-82-2474(代) FAX 0263-82-7514

〒399-8303 長野県安曇野市穂高4634 URL <http://www.hotaka-hospital.or.jp>